

まだまだ寒さを感じストーブをつけることもある時期が続いています。自宅へ帰省する際に新千歳空港を利用するのですが、いつ通りかかっても行列の店があります。『美瑛選果』というお店で覗いてみると『びえいのコーンぱん』を買う為に並んでいるようでした。1日に6回程焼かれ、1回に焼けるのが200個位。1箱5個入りでの販売で1人2箱まで。焼きたて販売で朝8時が第1回目の販売で、その後約2時間毎での販売です。毎回販売後に次の販売予定時間が貼りだされますが30分前には並ばないと完売してしまうため、購入する機会がありませんでした。

3月に帰省する際にタイミングが合い、焼き上げ40分前に店舗に着きましたので、並び無事に2箱購入しました。初めて見るコーンぱんの中にはこれでもかと言う位コーンが入っていました。その場で1個食べてみるとコーンがとて甘く、経験したことがない美味しさで、皆様が並んでも食べたくなる気持ちが分かりました。

朝8時のみ焼き上げ販売の豆パンがあるのですがこちらはハードルが高く購入する機会がなく今後の宿題と思いチャンスを伺っている状況です。

札幌営業所(所長:利川 光浩)

年明けしてからもう梅雨の6月を迎えるのですね。時間が経つのは早いです。年を重ねると時間が経つのが早く感じるという説がありますが、正しくその通りだと思います。ただ、まだまだ知らないことばかりですので、新しいことにも興味を持って、時にせわしく、でもゆっくりと、そしてゆったりと時間を楽めるように、そんな風に過ごしたいなあと思います。

さて、今回はコロナ禍でどこにも行けない状況ですので、非常事態宣言前に行った飲食店をご紹介します。家族で焼き焼きを食べようということになり、綿あめすき焼きがおいしい『武蔵別邸 巖流島』に行ってきました。お店の雰囲気もよいのですが、目当てのお肉もおいしく、綿あめの方もなかなかの映えでした。当然、こんな世の中なので、時期と移動にも対策を取るなど十分に気を付けています。非常事態宣言が解除され、飲食店も普通に稼働して、そして世の中がまた回り始めたら、今度はゆっくりと行きたいなあと思っています。

東日本物流センター 東日本営業本部(センター長:木下 敦裕)

KOYORAD

世界の拠点から
-From the base in the world-



～蘇州には4本、上海は17本～

中国の高速鉄道(新幹線)はあっという間に全国に張り巡らされ、その営業距離は今や36,000kmで世界一です。蘇州から1,000km以上離れた首都北京へも4時間で行けてしまいます。また、高速鉄道の発展だけでなく地下鉄も多くの都市で拡大を続けています。蘇州には4本、上海には17本の地下鉄路線が走っています。北京、上海はもちろん、広州、蘭州、西安、アモイ、遠くはウルムチに至るまで50を超える都市で市民の足として地下鉄が利用されています。

地下鉄はほとんどの都市でチャージカードの購入、または携帯アプリで利用可能です。アプリを立ち上げ、改札機にQRコードをかざして「ピッ」。降りる際も同様で手間いらず。日本円で初乗り30円程度とお得です。マスクと検温、そして健康アプリの提示は必須です。

面白いところでは江蘇省の省都、南京の地下鉄はカードの代わりにプラスチックコインが使われています。券売機で10円玉ほどの大きさのICチップ入りコインを購入し、改札機を通ります。南京名物の一つ、コイン切符は古風でユニークです。

地下鉄は各都市で拡張が進んでおり、4号線まである蘇州の地下鉄も全9路線、総延長380kmまで計画されているそうです。市内各地での地下鉄工事で道路が不便な箇所もありますが、蘇州の都市進化はまだまだ続きそうです。

KHE(中国・蘇州)(総経理:山本 博史)

皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は『飛翔』というモニュメントを紹介いたします。

名古屋駅東正面の交差点中央にある大きなモニュメントをご覧になられた方は多いと思いますが、それが『飛翔』という名前のモニュメントです。(私も最近まで、その名前を知らなかったが…)

このモニュメント『飛翔』は、1989年に名古屋市制100周年を記念して開催された『世界デザイン博覧会』に合わせて、地下鉄桜通線や駅前ロータリーの整備に合わせて造られました。公募から採用された100本以上のステンレスパイプが渦を描くようなデザインになっています。

造られてから駅前のシンボルとして30年ほど経過しましたが、リニア中央新幹線の開業に合わせ、名古屋駅前(東側)は再整備で駅前広場に生まれ変わる予定になっています。

それに伴い、このモニュメントは『ささしまライブ24』への移設が検討されていて、長らく親しんできた名古屋駅前の景色が変わることになるようです。

名古屋営業所(所長:高橋 鉄夫)

関西もコロナ第3波が来てしまいました。皆さまもご存じの通り、緊急事態宣言でゴールデンウィークは巣ごもりウィークに変化してしまいましたね。緊急事態宣言の出る前、阪神高速や名神高速道路などは仕事のクルマがそこそこ走っていました。電車とは違いクルマの方が個室感があり、安心して移動できます。しかし、パーキングエリアやサービスエリアは要注意ですね。4月中旬に阪神高速3号神戸線を走っていて、トイレ休憩をしようと、毎回激混みの京橋PAに入りました。

『空』のランプがあったのですが、見たことが無い程のガラ空き。何故かと言うと、ここは中華レストランやベーカリーなど飲食店も多いのですが、3月からリニューアルで改装閉店中でした。トイレのみ利用可能で駐車場には入れる為、今迄見たことのないガラ空き駐車場が見られました。

コロナ感染予防も含め、いいタイミングの改装閉店。コロナ禍が収まり、更にレストランもリニューアルされてキレイになれば良いですね。

大阪営業所(所長:藤谷 弘行)

突然ですが最近、家族でちょくちょく行く機会が増えた久留米市。久留米市といえば、久留米ラーメンをはじめ沢山の美味しい食べ物がありますが、今回はその中でも有名なうどんのお店をご紹介しますと思います。ちなみに福岡県では地域によってうどんの名称が変わり、北九州、福岡、筑豊、筑後と四か所に分類され、今回はその中の筑後うどんで有名な『立花うどん』です。

場所は久留米インターチェンジを降りてすぐの場所にあります。着いた時間は11:00過ぎでしたが、駐車場はほぼ満車状態。隅に車を停め、いざ店内へ…。意外にも店内は広く、壁一面に有名人のサイン色紙が貼ってあり、『THE名店!』という感じです。私は大好きな定番のごぼううどんとおいなりを注文。出汁の色は薄きれいな琥珀色で、福岡のうどんに比べて少ししょっぱい感じですがとてもやさしい味です。麺は福岡の某『牧〇〇〇ん』と同じような感じで柔らかいのですが、出汁を吸わないので非常に食べやすく満足な一杯でした。

ちなみこのお店はうどんを注文してから待った時間は約1分程度。美味しいだけではなく、お客様を待たせないお店の努力も素晴らしいと思いました。近くに寄ったらまた行きたいと思います。

福岡営業所・沖縄配送センター(所長:江頭 慎司)

最近、週末に子供達と一緒にショッピングモールに行きます。買い物したり、レストランで食事したりしています。どのショッピングモールでも、手洗い、体温検査、ソーシャルディスタンスを守るマークが必ずあります。

スーパーマーケットでもレジ前の床に足マークがあり、ちゃんと距離を保つように並んでいます。この生活スタイルになって約1年、人々は今のスタイルに慣れてしまいました。

インドネシアではワクチンを接種された方が日々増え、以前よりは安心感があります。ただインドのようなケースにならないように政府は常に注意を払っています。ワクチンを打ったとしても、コロナに感染している人は何人もいますので油断できません。いつかコロナも、風邪のように市販薬を飲んで治るぐらいの病気になることをたくさんの方が期待しています。

最近ゴルフを再開しましたが、キャディはマスクをつけて、カートは一人一台、もしくは二人の場合はちゃんと仕切りカーテンを付けています。プレイヤーもちゃんとマスクつけてしています。最初は少し不便を感じましたが、徐々に慣れて普通にマスクをつけてゴルフを楽しんでいます。

KJI(インドネシア)(工場長:S.Akhyar)

日本では緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置などが発令されている地域もありとても心配です。

アメリカでは全国的に新規感染者数は減り続けていますが、地域差もあります。とにかく国が広く、州政府による規制の違いや、人口密度、気候、市民の感染予防意識など感染を左右する要素が多いです。そのため地域ごとの感染傾向を分析したり、予測したりすることが難しいです。ここカリフォルニアのロサンゼルス郡やオレンジ郡ではピーク時期に比べて20分の1になりました。PCR検査の陽性率は1.5%と、2020年春のテスト開始以来、最低を記録しました。ニューサム州知事によると、全国で最低だそうです。ワクチン接種も進んでいて、既に全市民(16歳以上)が接種資格を得て、成人人口の約50%が少なくとも1回は接種が完了しています。リスクレベルもオレンジ色に改善され、レストラン、映画館、ジム

などの屋内営業が人数制限50%で許可されています。これらの情報を総合的に判断するとワクチンが効かない新しい変異株が登場しない限り、アメリカでの新規感染者数や死者が1月以上のレベルまで再増加するとは考えられないとの事です。

つい先日米CDC(米疾病対策センター)は新型コロナウイルスのワクチンを接種済みであれば、野外ではマスク着用は不要だとする新たな指針を発表しました。バイデン大統領も演説で日常を取り戻すためワクチン接種の必要性を訴え、独立記念日を目標に接種をさらに促進する考えを示しました。

日本も今までの遅れを取り戻し、1日も早いワクチン接種の環境整備が待ち望まれますね。

KCS(アメリカ)(COO:板垣 仁志)

家での良い習慣を、外でいつでもできるわけではありません。一緒にいる家族の中では当然で、外でもやるべき習慣があります。ただし、これが常に正しいとは限りません。

家では、食事が終わったら食器をシンクに持っていくように教えられます。しかしシンガポールでは、外食後のトレー・食器の返却はクリーナーの仕事で、それを行ってしまうと彼らが職を失うことになると多くの人が考えています。

政府はこの習慣を変えようとキャンペーンを行ってききましたが、効果的ではありませんでした。

今年の9月以降、屋台街でトレー・食器を返却場所に返却しないとペナルティが科せられます。全てが強制ではなく、内面からくるものになれば美しい事でしょう。しかし、変化を起こすには後押しが必要な場合もあります。

KIO(シンガポール)(E.Wong)

私はPSV(サッカークラブ)ファンです。2020/2021年シーズンに大きな期待を寄せていました。新しい監督、新規加入したスター選手、そして今年のアヤックス(ライバルクラブ)を困難にする若者の才能がありました。

シーズン前半は好調で、トップ常連のアヤックスにいくらか抵抗できました。今シーズン、アヤックスが35回目のタイトルを手にしましたが、PSVとAZの2位争いは熾烈になるでしょう。2位はチャンピオンズリーグ参加をかけた予選ラウンドへの権利を与えます。チャンピオンズリーグのトーナメントに参加すると、クラブに大きな利益をもたらします。

アヤックスには、プレイヤーに投資できる財団や優秀なユースアカデミーがあります。また、年俸の上限である100万ユーロを突破する好調な動きをみせました。これは、外国人プレイヤーがアヤックスに興味をもつことを意味します。

アヤックスが強力になりすぎて、他クラブと競ることが少なくなっています。しかしながら、9年連続でブンデスリーガを制したバイエルン・ミュンヘンのように、オランダのサッカーリーグがあまりにも予測可能にならないことを願っています。

PSVは、大規模な出資者と抵当権によって5,000万ユーロの強力な後押しを得ました。それでも4億3200万ユーロの企業価値を持つアヤックスのような裕福なクラブと競争することは難しいでしょう。

KIO(オランダ)(Marvin de Laat)